絵本は心の栄養！

♪聞いてみよう、やってみよう♪

・ペアサポによる読み聞かせ、エピソード
・グループで絵本の読み合い
・読み聞かせボランティアによる講話　　など

①　どのように家庭読書を楽しんでいますか。

② 家庭読書で工夫していることはありますか。

③　我が家でできそうな家庭読書を考えてみましょう。

家庭読書の取り組み例

〇テレビを消して家族みんなで読書をする

〇大人が子どもに、子どもが大人に読み聞かせをする

〇折り紙や料理の本等を一緒に読み、子どもと実際に作る

〇家族で一緒の本を読み、感想を話し合う

〇図書館等、本のたくさんある場所に子どもと一緒に本の楽しさを探しに出かける　など

✿島田市社会教育委員 報告書

提言「家庭教育の在り方～子育ては 親育て！～」より一部抜粋

想像力は、絵本を読んで聞かせることで育ちます。また、それは思いやりの心にもつながります。さらに、絵本を読んでもらった経験は、そのまま「愛されている」という実感となって子どもに伝わります。

毎月第３日曜日は「島田市家庭の日」

家庭の日は、家族みんなで一緒に過ごし、
家庭内のコミュニケーションを深めることを目的とした日です。

＜参考資料ＱＲコード＞

静岡県読書ガイドブック「本とともだち」

島田市立図書館「こどもとしょかんだより」

島田市教育委員会

ペアレントサポーターおすすめの本（小学１年生向け）

（書名のあいうえお順）

No	書　名	著　者　名	出版社名	請求記号	所蔵館			ペアサポからのコメント
					島田	金谷	川根	
1	愛蔵版 おはなしのろうそく	東京子ども図書館	東京子ども図書館	K908 ／ト／ 1～12	○	○		「東京子ども図書館」が編集した昔話がたくさん詰まったシリーズです。「絵本」ではなくお話のみが書かれている本ですが、内容は実に面白く、想像力がついた１年生では、読んでもらう声で心地よくなり、そしてお話の面白さで心が満腹になっていくのではないでしょうか。我が家のお気に入りは、「エパミナンダス」おばさんから色々ともらうのですが持ち帰り方が…。読み進めると、次はどうなるか？が予想できちゃうのでついニヤニヤしてしまいます。
2	いいからいいから１～５	長谷川　義史／作	絵本館	E/ハ/ 1～5	○	○	○	おじいちゃんのゆるい感じが子供たちの安心感につながると思っています。パパママも思い出しながら一緒の時間を過ごしてほしいと思います。
3	いいタッチわるいタッチ	安藤　由紀／作・絵	岩崎書店	E/ア	○			なかなか伝えにくいことですが、なるべく早く子供たちに知っていてほしいことだと思っています。ぜひ一緒に読むことで親も子も巻き込まれないようにしてほしいと思います。
4	ウラパン・オコサ	谷川　晃一／作	童心社	E/タ	○	○	○	１と２だけの数遊びの絵本です。家族で楽しめます。
5	おじいちゃんの おじいちゃんの おじいちゃんの おじいちゃん	長谷川　義史／作	ＢＬ出版	E/ハ	○	○	○	人気の長谷川義史さんの絵本です。大笑いしながら家族の繋がりを感じます。
6	かぜひきたまご	舟崎　克彦／文 杉浦　範茂／絵	講談社	E/ス	○	○		ふしぎなお話。子供の苦手や困ったことを引き受けてくれる不思議な卵を拾っちゃった。読み終わってから家族でどんなふうに使うかなんて話してみるのもおもしろいですね。
7	クレヨンからの おねがい！	ドリュー・デイウォルト／文 オリヴァー・ジェファーズ／絵 木坂　涼／訳	ほるぷ出版	E/シ	○	○	○	いつも使っている「クレヨン」。ある日、ケビンのもとにクレヨンたちから手紙が届きます。クレヨン一本一本に個性があって、読み進めるうちに「クスッ」と思わず笑ってしまう場面が。なんだか、クレヨンの気持がわかるとクレヨンの使い方も考えるようになったりして。少し長いお話ですから、最初は読み聞かせで一緒に楽しめるといいですね。
8	くわずにょうぼう	稲田　和子／再話 赤羽　末吉／画	福音館書店	E/ア	○	○	○	ちょっとこわくておもしろい昔話。こういうお話は、身近な人に読んでもらうと安心して聞けるものです。ぎゅっと抱っこしながら読んであげると特別な時間を作り出せるのではないかと思います。
9	しまふくろうのみずうみ	手島　圭三郎／絵と文	福武書店 （リブリオ出版）	E/テ		○		版画で描かれた絵が美しい。北海道の大自然の雄大さと生き物の力強さが伝わってきます。動物好きな子にもそうでない子にも、一度は読んでほしい一冊です。
10	じゅげむ	川端　誠／作	クレヨンハウス	E/カ	○	○	○	落語の「じゅげむ」は何処かで耳にしたことがあるのではないでしょうか。子どもの名前を和尚さまに相談したところ、めでたい名前をたくさん教えてもらいました。さて、その中から一つを選ぶとすると…選びきれません。和尚様に教えてもらった名前を全て名前にしてしまったお陰で…あらあら大変。長い名前が耳に残り、親子で覚えてしまう程になっちゃうかも。他にも「まんじゅうこわい」も楽しいお話ですよ。
11	それしかないわけ ないでしょう	ヨシタケシンスケ／著	白泉社	E/ヨ	○	○	○	答えはひとつじゃないよ、と親子で感じてほしいです。型にはまらない、自由な発想と工夫がきっと子育ての時を素敵にしてくれ、気持ちを楽にしてくれると思います。

12	たんたのたんてい	中川　季枝子／さく 山脇　百合子／え	学研 （改訂版は 学研プラス）	KF/ ナカノ	○	○	○	50年読み続けられているロングセラーの絵本。自分で読むなら１、２年生からとなっていますが、ぜひ読んであげてください。そして大人も一緒にこの世界に入り込んで子供時代を思い出してもらえたらと思います。
13	時計つくりのジョニー	エドワード・アーディゾーニ／作 あべ　きみこ／訳	こぐま社	E/ア	○	○	○	子供って好きなことには夢中になりますよね。いろいろな困難を乗り越えて、こんなふうに好きなことを仕事にできたら素敵！仕事について家族で話し合うきっかけにもなったらいいですね。
14	ないたあかおに	はまだ　ひろすけ／ぶん いけだ　たつお／え	偕成社	E/イ	○	○		不朽の名作でよく知られています。友達を思う気持ちを丁寧につづってあると思います。豆まきのころこの本を読むとまた違った節分を感じられます。
15	なぞなぞあそびうた	角野　栄子／さく スズキ　コージ／え	のら書店	K911 /カ	○	○		病院での待ち時間や、電車・バスで出かける時、ピコピコゲームじゃなくてなぞなぞで楽しむのもいいのではないでしょうか。ポケットサイズです。
16	ぼくはなきました	くすのき　しげのり／さく 石井　聖岳／え	東洋館出版社	E/イ E/カ	○ E/イ	○ E/カ		日本人は自己肯定感が低いと言われていますが、難しく考えずに、子供が自分を好きになることと相手を大事に思うこと、そして親や周りの大人が自信を持てるように応援してあげることを再確認できます。
17	ふしぎなたいこ	石井　桃子／ぶん 清水　崑／え	岩波書店	E/シ	○	○	○	1953年初版の超ロングセラー絵本です。太鼓をたたく度に鼻が伸びたり縮んだり。楽しい日本の昔話が３話収録されています。
18	ふたりはともだち	アーノルド・ローベル／作 三木　卓／訳	文化出版局	E/ロ	○	○	○	かえるくんとがまくんのやりとりが、とてもほのぼのしていて癒されてしまう幼年向けの本です。この本には、「はるがきた」「おはなし」「なくしたボタン」「すいえい」「おてがみ」の五つの短いお話が入っていて、最後の「おてがみ」は、２年生になると教科書に載っています。親子でほのぼのしてみてはいかがでしょうか。
19	また　おこられてん	小西　貴士／作 石川　えりこ／絵	童心社	E/イ	○	○		子供の気持ちに気づける絵本。忙しさについ怒ってしまうことってありますよね。でも子供だって怒られたいわけじゃない。子供に寄り添う気持ちで一緒に楽しめたら、また違った言葉がけができるかもしれませんね。
20	まるまるまるのほん	エルヴェ・テュレ／さく たにがわ しゅんたろう／やく	ポプラ社	E/テ	○			「まる」だけで家族で楽しく遊べる不思議な絵本です。谷川俊太郎さん訳でおすすめです。
21	みかんのひみつ	鈴木　伸一／監修 岩間　史朗／写真撮影	ひさかた チャイルド	K625 /ミ	○	○	○	静岡特産のみかんの秘密がわかりやすく書かれている写真絵本です。大人もへぇー！と発見がいっぱいです。
22	よわいかみ つよいかたち	かこ　さとし／著・絵	童心社	E/カ /8	○	○	○	絵本の中で、楽しくわかりやすく実験をしている絵本です。同じ葉書が、形を変えただけであら不思議。たちまち強い紙になっちゃうのです。この絵本を読んでから息子と車で出かけると…「へ～この形ってこんなにも使われていたんだ！」と。親子で「そうだったんだ！」の感動をたくさんもらったことを、今でも鮮明に覚えています。読み聞かせを通して親子で思い出に残るエピソードをもらえる一冊。ぜひ皆さんも出会えるといいですね。
23	わくわくにんげん （シリーズ） どきどきしぜん （シリーズ） （※かがくのとも絵本）	―	福音館書店	※図書館には、 わくわくにんげんシリーズは34冊、 どきどきしぜんシリーズは45冊あります。 （本によって所蔵状況が違うので、各図書館にてお問い合わせください。）				「よわいかみ　つよいかたち」で紹介しましたように科学の絵本は、新しい知識との出会いが詰まっています。親子で「へ～そうだったんだ！」と思うことがたくさんあります。「たんぽぽ」「大きくなったらなんになるの」「みずたまれんず」「おっぱいのひみつ」「チンチンでんしゃのはしるまち」などなど。たくさんあります。読み聞かせは単に本を読む作業ではなく、たくさんの思い出や、感動を共有する時間。このシリーズは、そういった要素がたくさん詰まった絵本です。我が家にとっての一冊が見つかるといいですね。